

島村ゼミ 演習 I・II (地方財政論)

～経済的豊かさと平等な社会は両立しえるのか、考えよう～

島村ゼミでは、国や地方自治体といった公共部門における経済について議論を通じて学んでいきます。所得税や消費税は何が違うのか、国の財政が逼迫するなかで年金や医療、教育などの社会保障はどのようにあるべきか、人口減少社会で地方自治体は何をするべきなのか、市場経済と再分配の関係とは何か、という問いについて研究していきます。



合同ゼミ合宿で「医療費適正化」について報告する3年生

<活動内容>

◇グループ・ディスカッション

財政や地方財政、社会保障に関する課題図書を読み、それについて肯定・否定×2・司会の4班に分かれてディスカッションを行います。毎週授業までに、輪読文献を精読し参考文献やデータを調べ、報告レジュメを作成します。授業当日は他の班に反論しつつ、論理的に建設的な議論をしていきます。

◇輪読

古典文献を分担して報告します。報告者は参考文献も調べて、レジュメを作成します。授業当日はコメントーターのコメントに始まり、全員で議論していきます。

◇ゼミ合宿

フィールド・ワークを兼ねた研究合宿や、他大学との合同ゼミ合宿を行います。

島村玲雄研究室 ～地方財政論・財政学～

<研究テーマ>

オランダ財政

(論文) (2013) 「オランダにおける2001年税制改革—ボックス課税と給付付き税額控除の導入背景」

(2014) 「オランダにおける所得税と社会保険料の統合の意義について—1990年改革を中心に」

(2017) 「『オランダモデル』と財政改革」 ほか

参照：『熊大通信』 vol.65, 6頁 [「公のお金を考える財政学。今までになかった議論で少子高齢化時代を拓く。」](#)

<メンバー 2018年度>

島村玲雄 講師、法学部4年生6人、法学部3年生13人

<卒論テーマ>

都市の役割、震災復興と財政、人口減少と地方創生、女性の年金問題ほか



伊藤くん (3年生)

ゼミではほぼ毎回レジュメを作成し、議論に答えられるように文献などを調べる必要があります。大変です。しかし、自分で調べることで発見があり、新しく関心を持つこともあります。議論で発言することは勇気もいりますが、お互い様なので皆丁寧で心配無用です。

花山さん (3年生)

財政赤字の問題は教育や年金など社会保障の財源問題にも影響を及ぼすので、問題はとても複雑です。夏休みにみんなでゼミ合宿に行きます。楽しい思い出が作れる...かも。

平山さん (3年生)

雇用問題では労働者や企業、政府に各々の立場があるように、議論の中で自分と異なる様々な意見を聞き、多方面から物事を考える力がつきました。

中江さん (3年生)

ディスカッションは準備に時間がかかり少し大変ですが、各自が課題文献だけでなく“+α”の参考文献や資料を持ってきて議論するため、その分活発な議論になり、やりがいがあります！